

# 防災主任を中心とした防災教育の推進に関する研究 —「防災教育スタートパック」の開発と活用の提言を通して—

## 研究の概要

東日本大震災を受けて策定された「宮城県震災復興計画」(平成23年10月)では、児童生徒等の災害対応能力を高める教育の推進を掲げています。これを受けて、宮城県では各公立学校に防災主任が配置され、教職員の共通理解と校内研修の実施に基づく防災教育の推進を目指しています。

本研究は、新任防災主任研修会と連動して「防災教育スタートパック」を開発し、校内研修における活用を通して学校内における組織的な防災教育の推進を図る提言です。





# 活用ガイド

資料を活用した研修の見直しをもたせる

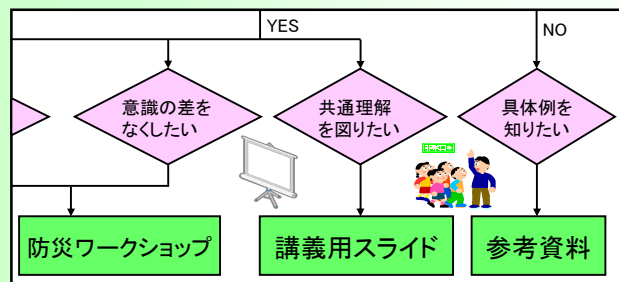
## 4つのガイドとなる資料

### ① はじめに

「スタートパック」の概要が分かります。

### ② クイック検索

今必要な防災研修が見つかります。



### ③ 年度当初の防災研修プラン

4月当初の防災研修実施に役立ちます。

月	日	曜	主な予定	防災研修会の案
4	2	火	職員会議	■講義用スライド 「防災教育とは」(10分)
	3	水	各種部会 新年度準備 生徒指導会議	■防災研修会Ⅰ(60分) ■講義用スライド 「校内の体制整備について」(10分) ■防災ワークショップ「校地編」(50分)

### ④ 活用例

年間を見通した防災研修を計画できます。

項目	学校安全に関する組織活動	研修	スタートパックの活用
4月	・地域パトロール ・春の交通安全運動期間の職員	・遊具等の安全点検方法等に関する研修	○防災ワークショップ・学区編



# 防災ワークショップ

教職員の意識や防災対応能力を高める

## 5つの防災ワークショップ

### ① 学区編

### ② 校地編

### ③ 通学路編

### ④ 校外学習編

### ⑤ 家庭編

それぞれの場面において、危険と事前対策、取るべき行動、児童生徒等への指導を考えるワークショップです。

## 各ワークショップに関する資料

### はじめよう「防災ワークショップ」

全てのワークショップ共通の資料です。ワークショップの概要、防災ワークショップの効果、活用・発展例がまとめてあります。

### ① 研修ガイド

### ② ファシリテーター進行表

### ③ 進行スライド(進行要領例)

### ④ グループ進行表

### ⑤ ワークシート

5つの防災ワークショップのそれぞれに、すぐに印刷・自校化できる5つの資料があります。

→児童生徒等の指導や家庭・地域等との連携にも活用できます。



防災ワークショップを活用した校内研修の様子



# 講義用スライド

教職員の共通理解を図る

## 6つの講義用スライド

### ① 学校安全における防災教育の位置付けについて

### ② 防災教育について

### ③ 教科等で取り組む防災教育について

### ④ 防災訓練について

### ⑤ 校内の体制整備の必要性について

### ⑥ 保護者や地域等との連携について

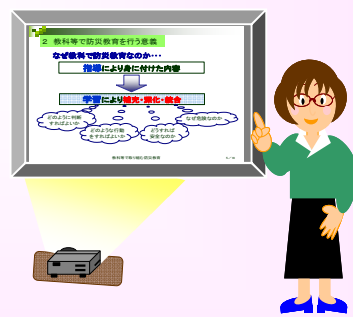
## 作成のポイント

プレゼンテーションソフトで作成しています。

→学校の実態に応じた内容の加除修正が可能です。

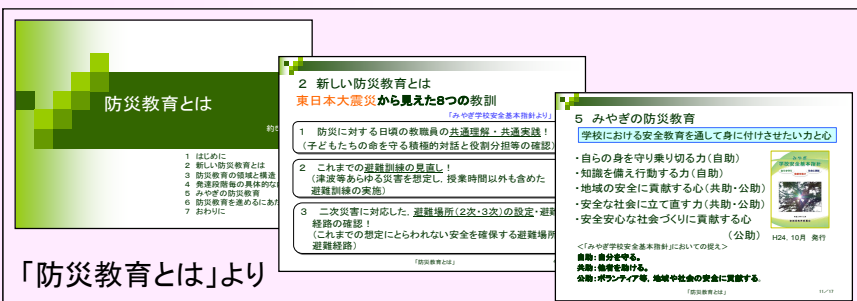
進行要領例もあります。

→防災主任が講義する形態で研修会を行うことが可能です。



→防災主任はもちろんのこと、誰でも講義を進めることができます。

## スライド例



# 参考資料

実践へつなげる知識を深める

## 5つの参考資料

### ① 必ず身に付けさせたい事項と内容



「みやぎ学校安全基本指針」から災害安全に関わる「必ず身に付けさせたい事項」と「具体的指導内容」を発達段階別に作成。ウェブサイトから参考となる指導資料にリンクしています。

### ② 指導資料を取り出せるリンク集

### ③ 情報発信例



学校ウェブサイトを活用して、自校の防災教育を発信する例です。

### ④ 指導事項カード活用例

### ⑤ 避難訓練チェック表

# 防災ワークショップ(校地編) 参加者の声

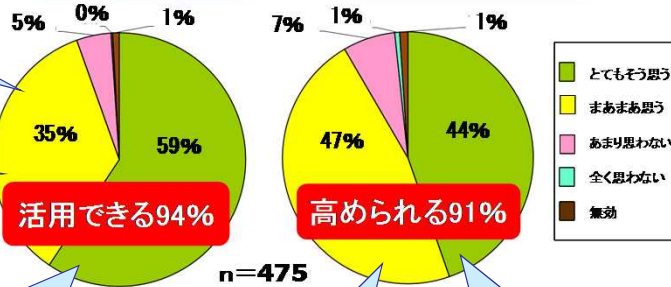


活用に前向きな声をたくさんいただきました



## 平成24年度新任防災主任研修会地域別研修の アンケートより

自校の防災教育に活用できるか 教員の意欲(意識)を高められるか



こういったパックがあると、どの学校でも共通のプロセスで勤務校の防災を学べるのでよいと思う。

取り組みやすいと思う。年度の初めに、転任してきた先生も交えて行ってみたい。

日頃の多忙さから、防災教育の必要性・重要性は分かっているが、具体的に取り組めていないのが現状である。今回体験したワークショップならすぐに実践できそうだ。

ワークショップの作業過程が重要だと実感できた。

このワークショップは、教職員のみならず児童・生徒にも防災意識を高める上で効果があると思う。

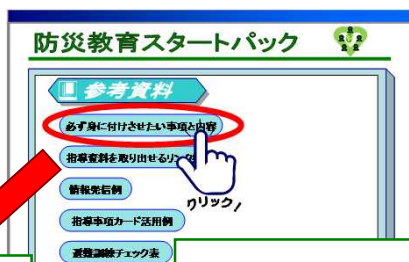
### 1 使いたい内容をクリック



## 防災教育スタートパック

< 活用手順 >

### 2 各種資料をクリックして 閲覧・ダウンロード



### 3 参考となるリンクへもダイレクトにジャンプ

- 【継続的に指導する】
- ①-1) 雷は危険である。
  - ②-2) 遠くの方で雷が聞こえていても、頭の上に雷雲がある時は、自分に落雷する可能性がある。
  - ③-3) 傘には落雷しやすいので使わない。
  - ④-4) 大きな木には落雷しやすいので避けない。
  - ⑤-1) 外にいて雷雲が近い時は、隣りから安全な建物等に避難する。
- 参考資料
- ・雷雲から身を守るには(気象庁)
  - ・リーフレット「雷雲・雷」(気象庁)
  - ・雷とは(気象庁)

### 4 サイトを閲覧、必要ページを印刷



「防災教育スタートパック」を活用して、1年を通して防災教育に取り組みましょう。

自校化できるよう加除修正可能な資料もあります。

## 宮城県教育研修センター

〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉393

電話：022-227-2626 FAX：022-213-8635

URL <http://www.edu-c.pref.miyagi.jp/>

## 平成24年度防災教育研究グループ

専門研究員	大崎市立古川第三小学校	本田 結城子
	石巻市立門脇小学校	柏 晃司
	南三陸町立伊里前小学校	阿部 正人
	宮城県志津川高等学校	岸 貴司
指導主事	教職研修班	安斎 善和
	情報教育班	小松 浩行
	教職研修班	樋川 研吾